



# 令和元年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年8月5日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社  
 コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 令和元年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和元年12月期第2四半期の連結業績(平成31年1月1日～令和元年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年12月期第2四半期	36,171	△5.8	1,010	17.9	1,008	16.1	616	10.1
30年12月期第2四半期	38,390	1.9	857	6.2	868	4.8	559	3.2

(注)包括利益 元年12月期第2四半期 516百万円 (△23.5%) 30年12月期第2四半期 675百万円 (31.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年12月期第2四半期	10.19	—
30年12月期第2四半期	9.26	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
元年12月期第2四半期	52,528	21,158	36.4
30年12月期	53,251	21,190	35.8

(参考)自己資本 元年12月期第2四半期 19,121百万円 30年12月期 19,074百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年12月期	—	—	—	7.00	7.00
元年12月期	—	—	—	—	—
元年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和元年12月期の連結業績予想(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	△1.5	1,650	4.3	1,700	5.9	1,000	113.0	16.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	元年12月期2Q	65,586,196 株	30年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	元年12月期2Q	5,151,874 株	30年12月期	5,155,569 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	元年12月期2Q	60,431,799 株	30年12月期2Q	60,430,899 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

○第2四半期決算 参考資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦への懸念等、海外経済の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況となりました。

このような経営環境の下、当社グループは中長期戦略「長期ビジョン100」の実現に向けた「中期経営計画2023」を策定し、当社グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、「長期ビジョン100」で掲げた重要課題である5本の柱を軸とした取組みを進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、36,171百万円（前年同期比5.8%減）となりましたが、利益面では、営業利益は1,010百万円（前年同期比17.9%増）、経常利益は1,008百万円（前年同期比16.1%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は616百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年1月1日 至 令和元年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	18,686	96.8
		チューハイ	3,620	105.4
		清酒	1,910	86.2
		合成清酒	1,208	95.1
		販売用アルコール	3,203	84.0
		みりん	385	194.6
			29,015	95.9
	洋酒部門	2,421	77.2	
	その他の部門	290	52.9	
		31,727	93.5	
加工用澱粉		1,933	100.3	
酵素医薬品		2,328	99.0	
不動産		167	101.3	
その他		14	149.3	
	合 計	36,171	94.2	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 【酒類事業】

酒類事業については、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。このような環境の下、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行いました。売上高は31,727百万円(前年同期比6.5%減)となりました。一方、利益面につきましては、107百万円の営業利益(前年同期比896.6%増)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、甲類焼酎の「北海道ビッグマン」シリーズ、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」などが好調に推移したものの、PB商品の減少により売上高は減少いたしました。甲類焼酎「ビッグマン」シリーズでは、北海道エリアにおいて、2019年ラグビー日本代表のリーチ マイケル氏を起用しTVCMを放映するなど、地域における強みを活かした展開を進めております。また、「ビッグマンストロング 40%」は従来のアルコール分20%の甲類焼酎に比べ、手軽に強炭酸サワーを作ることができるだけでなく、ペット容器の小型化や輸送費の削減に繋がる環境配慮型商品として発売いたしました。その他、甲類乙類混和焼酎「むぎ焼酎 すごむぎ 25% 1,800mlパック」が、販売データを基に成長性の高いすぐれた商品を選定する「日経POSセレクション2019」において、「SELECTION賞」に選出されております。

チューハイ、カクテルなどの低アルコール飲料においては、チューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズやPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。チューハイ「NIPPON PREMIUM」シリ

ーズでは、期間限定商品「熊本県産すいかのチューハイ」「山形県産佐藤錦使用さくらんぼのチューハイ」の発売や、原材料の茶葉に「深蒸し茶」を加え、より本格的な味わいを追求した「静岡県産緑茶ハイ」のリニューアルを行いました。その他、「こだわりの酒粕焼酎」と「男鹿半島の塩」を使った、プレミアムなチューハイ「秋田サワー塩レモン」を秋田県限定で発売いたしました。

清酒においては、市場の低迷が続いておりますが、純米吟醸酒でありながらお手頃な価格を実現した「福德長米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒パック」が好調に推移しております。なお、平成30酒造年度全国新酒鑑評会において、伝統を活かした高品質な酒造りが評価され、秋田県湯沢の地酒「一滴千両（いってきせんりょう）」が金賞を受賞いたしました。

販売用アルコールにおいては、北海道胆振東部地震の影響を受けた苫小牧工場の復旧工事が進み、本格的な稼働を再開したものの、震災の影響により売上が大きく減少しております。

洋酒部門においては、旭川工場製造の輸出用ジンが大変好調に推移しましたが、PB商品の減少により、売上高は減少いたしました。なお、2019年のモンドセレクションにおいて、北海道ならではの6種類のボタニカルを含む、11種類のボタニカルを使用した北海道クラフトジン「北水鐘（きたすいしょう）」が初出品で優秀品質最高金賞を受賞いたしました。この他にも、しそ焼酎「鍛高譚（たんだかたん）」を含む計7品が優秀品質金賞を受賞しております。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、ビール用グリッツやシリアル食品用が増加したため、売上高は1,933百万円(前年同期比0.3%増)となりました。また、営業利益は93百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

#### 【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、国内の生産支援ビジネスが増加したものの、酵素部門における海外での販売が減少したため、売上高は2,328百万円(前年同期比1.0%減)となりました。しかしながら、製品構成の影響などにより、営業利益は707百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業については、売上高は167百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は96百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、52,528百万円となり、前連結会計年度末と比較し722百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、31,370百万円となり、前連結会計年度末と比較して690百万円の減少となりました。これは主に設備関係電子記録債務の減少等によるものであります。

純資産につきましては、21,158百万円となり、前連結会計年度末と比較して31百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,684百万円となり、前連結会計年度末と比較して437百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、227百万円(前年同期比1,018百万円減)となりました。これは主に未払酒税の減少額606百万円、棚卸資産の増加額462百万円等がありましたものの、売上債権の減少額679百万円のほか、減価償却費634百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出2,374百万円等がありましたので、2,232百万円(前年同期比25百万円減)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、長期借入金の返済による支出775百万円、配当金の支払額426百万円等がありましたものの、長期借入れによる収入3,000百万円、短期借入金の増加額800百万円等がありましたので、2,442百万円(前年同期比1,547百万円増)の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想における売上高については、第3四半期以降は前年に比べ増加する見込みであるものの、第2四半期までの動向を踏まえ、平成31年2月8日発表の業績予想を下回る見込みに修正しております。なお、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想を変更していません。

令和元年12月期 通期連結業績予想数値の修正(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	78,000	1,650	1,700	1,000	16.55
今回修正予想(B)	76,000	1,650	1,700	1,000	16.55
増減額(B-A)	△2,000	—	—	—	
増減率(%)	△2.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成30年12月期)	77,151	1,582	1,605	469	7.77

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,251	1,689
受取手形及び売掛金	18,654	17,974
有価証券	12	—
商品及び製品	5,793	6,443
仕掛品	187	238
原材料及び貯蔵品	1,179	939
その他	462	445
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	27,530	27,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,427	25,465
減価償却累計額	△19,187	△19,433
建物及び構築物（純額）	6,240	6,031
機械装置及び運搬具	32,115	32,032
減価償却累計額	△28,805	△28,975
機械装置及び運搬具（純額）	3,309	3,056
土地	9,832	9,708
建設仮勘定	2,719	2,784
その他	2,036	2,012
減価償却累計額	△1,879	△1,877
その他（純額）	157	135
有形固定資産合計	22,260	21,717
無形固定資産		
のれん	136	105
その他	344	313
無形固定資産合計	481	418
投資その他の資産		
投資有価証券	1,676	1,476
繰延税金資産	962	878
その他	346	319
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,980	2,669
固定資産合計	25,721	24,804
資産合計	53,251	52,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,811	4,680
電子記録債務	1,311	1,293
短期借入金	3,550	4,700
未払金	4,280	3,721
未払酒税	8,810	8,204
未払法人税等	292	172
賞与引当金	58	57
役員賞与引当金	35	17
災害損失引当金	116	1
設備関係支払手形	373	59
設備関係電子記録債務	1,797	16
その他	1,479	1,372
流動負債合計	26,919	24,297
固定負債		
長期借入金	—	1,875
長期預り金	3,351	3,407
繰延税金負債	200	175
役員株式給付引当金	36	44
退職給付に係る負債	1,313	1,353
資産除去債務	114	114
その他	125	101
固定負債合計	5,141	7,072
負債合計	32,061	31,370
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,597	5,597
利益剰余金	7,283	7,473
自己株式	△1,194	△1,193
株主資本合計	18,632	18,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	324
繰延ヘッジ損益	△2	△9
退職給付に係る調整累計額	△20	△15
その他の包括利益累計額合計	442	298
非支配株主持分	2,115	2,036
純資産合計	21,190	21,158
負債純資産合計	53,251	52,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年6月30日)
売上高	38,390	36,171
売上原価	31,134	29,142
売上総利益	7,256	7,028
販売費及び一般管理費	6,398	6,018
営業利益	857	1,010
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	20
受取賃貸料	43	38
雑収入	34	30
営業外収益合計	98	89
営業外費用		
支払利息	42	34
シンジケートローン手数料	-	20
為替差損	22	16
雑損失	23	20
営業外費用合計	87	91
経常利益	868	1,008
特別利益		
固定資産売却益	5	7
保険差益	0	3
保険解約返戻金	-	4
特別利益合計	5	15
特別損失		
固定資産除売却損	28	8
事業再編損失	-	54
その他	5	2
特別損失合計	34	65
税金等調整前四半期純利益	839	958
法人税等	291	298
四半期純利益	547	660
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	559	616

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年6月30日)
四半期純利益	547	660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	△140
繰延ヘッジ損益	△2	△7
退職給付に係る調整額	63	5
その他の包括利益合計	127	△143
四半期包括利益	675	516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	687	472
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	44

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	839	958
減価償却費	746	634
のれん償却額	31	31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△79	40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△18
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	10	7
受取利息及び受取配当金	△21	△20
支払利息	42	34
シンジケートローン手数料	—	20
固定資産売却益	△5	△7
固定資産除売却損	28	8
事業再編損失	—	54
売上債権の増減額(△は増加)	1,624	679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△420	△462
仕入債務の増減額(△は減少)	△307	△149
未払酒税の増減額(△は減少)	△917	△606
その他	△93	△233
小計	1,457	967
利息及び配当金の受取額	21	20
利息の支払額	△62	△53
災害損失の支払額	—	△229
事業再編による支払額	—	△143
法人税等の支払額	△169	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,246	227
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,169	△2,374
固定資産の除売却による収支(△は支出)	18	131
有価証券の償還による収入	—	12
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△52	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,206	△2,232
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,750	800
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△400	△775
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△12
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△424	△426
非支配株主への払戻による支出	—	△4
非支配株主への配当金の支払額	△12	△119
連結範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△0	—
シンジケートローン手数料の支払額	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	894	2,442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66	437
現金及び現金同等物の期首残高	1,329	1,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,263	1,684

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、当社及び連結子会社は、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しております。

当社グループは、本格焼酎・混和焼酎の増売や酵素医薬品事業における生産支援ビジネスの展開などグループの強みを活かした事業の拡大を積極的に行ってまいりました。しかしながら、現在における酒類事業を取り巻く環境は、国内の人口減少や少子高齢化並びに飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、また、酵素医薬品事業においては、競合他社との価格競争及び遺伝子組換え製品の参入など、競争環境は激化していくことが予想されます。

このような背景から中期経営計画の見直しを行い、令和元年度を初年度とする「中期経営計画2023」を策定いたしました。新たな中期経営計画においては既存設備による生産効率の向上及び安定的な生産供給に比重を置いた方針を定めており、これに基づく設備投資計画では設備の維持及び更新投資が中心となっております。この結果、今後は効率的な生産体制のもとで長期安定的な設備の稼動が見込まれております。これを契機とし、有形固定資産の減価償却方法について再検討を行った結果、長期安定的な使用実態のもとでは、使用期間にわたり費用を均等に負担させることが事業の実態をより適切に反映する合理的な方法であると判断し、減価償却方法として定額法を採用することにいたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ118百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

#### (追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,934	1,928	2,352	164	38,380	9	—	38,390
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	—	—	—	2	—	△2	—
計	33,936	1,928	2,352	164	38,383	9	△2	38,390
セグメント利益	10	82	656	102	852	4	—	857

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。  
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成31年1月1日 至 令和元年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,727	1,933	2,328	167	36,156	14	—	36,171
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9	—	—	—	9	—	△9	—
計	31,736	1,933	2,328	167	36,166	14	△9	36,171
セグメント利益	107	93	707	96	1,004	6	—	1,010

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。  
 2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却の方法については、従来、当社及び連結子会社は、定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しました。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、セグメント利益は、酒類において71百万円、加工用澱粉において4百万円、酵素医薬品において40百万円、不動産において2百万円、その他において0百万円それぞれ増加しています。

## 令和元年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

**オエノンホールディングス株式会社**

令和元年8月5日

# 1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成30年1月1日 至平成30年6月30日	自平成31年1月1日 至令和元年6月30日		
酒類事業	33,934	31,727	△ 2,206	93.5
加工用澱粉事業	1,928	1,933	5	100.3
酵素医薬品事業	2,352	2,328	△ 24	99.0
不動産事業その他	174	181	6	103.9
売上高	38,390	36,171	△ 2,218	94.2
売上原価	31,134	29,142	△ 1,991	93.6
売上総利益	7,256	7,028	△ 227	96.9
販売費及び一般管理費	6,398	6,018	△ 380	94.1
酒類事業	10	107	96	996.6
加工用澱粉事業	82	93	10	112.5
酵素医薬品事業	656	707	51	107.8
不動産事業その他	107	102	△ 4	95.5
営業利益	857	1,010	153	117.9
営業外収益	98	89	△ 9	90.4
営業外費用	87	91	4	105.0
経常利益	868	1,008	139	116.1
特別利益	5	15	10	282.5
特別損失	34	65	30	189.0
税金等調整前四半期純利益	839	958	119	114.2
法人税等合計	291	298	6	102.2
四半期純利益	547	660	112	120.6
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 11	44	56	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	559	616	56	110.1
1株当たり四半期純利益※円	9.26	10.19	0.93	110.0
設備投資額	706	143	△ 563	20.3

## 2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成30年1月1日 至平成30年6月30日	自平成31年1月1日 至令和元年6月30日		
焼酎	19,308	18,686	△ 622	96.8
（甲類焼酎）	(7,447)	(7,062)	(△ 385)	(94.8)
（乙類焼酎）	(11,860)	(11,623)	(△ 236)	(98.0)
チューハイ	3,435	3,620	185	105.4
清酒	2,217	1,910	△ 306	86.2
合成清酒	1,271	1,208	△ 62	95.1
アルコール	3,815	3,203	△ 612	84.0
みりん	198	385	187	194.6
洋酒	3,138	2,421	△ 716	77.2
その他	549	290	△ 258	52.9
酒類計	33,934	31,727	△ 2,206	93.5
加工用澱粉	1,928	1,933	5	100.3
酵素医薬品	2,352	2,328	△ 24	99.0
不動産	164	167	2	101.3
その他	9	14	4	149.3
合計	38,390	36,171	△ 2,218	94.2

### 3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	96	売上高減少による総利益減△380 原材料コストの低下による原価減+75 運送費など販管費の減+405 製品構成の影響等△4
加工用澱粉事業	10	
酵素医薬品事業	51	生産支援ビジネスの増
不動産事業その他	△ 4	
営業利益	153	
営業外収益	△ 9	
営業外費用	△ 4	シンジケートローン手数料の増
経常利益	139	
特別利益	10	保険返戻金等
特別損失	△ 30	事業再編損失等
税金等調整前四半期純利益	119	
法人税等	△ 6	
四半期純利益	112	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 56	
親会社株主に帰属する四半期純利益	56	

#### 4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成30年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 令和元年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,251	1,689	437	134.9	
受取手形及び売掛金	18,654	17,974	△ 679	96.4	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,159	7,622	462	106.5	
その他	474	445	△ 29	93.8	
貸倒引当金	△ 10	△ 7	2	-	
流動資産合計	27,530	27,724	194	100.7	
建物	5,134	4,966	△ 167	96.7	
土地	9,832	9,708	△ 124	98.7	
その他	7,293	7,041	△ 251	96.6	
有形固定資産計	22,260	21,717	△ 542	97.6	
無形固定資産	481	418	△ 63	86.9	
投資有価証券	1,676	1,476	△ 199	88.1	
長期前払費用	125	129	3	102.6	
繰延税金資産	962	878	△ 83	91.3	
その他	220	189	△ 30	86.1	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,980	2,669	△ 310	89.6	
固定資産合計	25,721	24,804	△ 916	96.4	
資産合計	53,251	52,528	△ 722	98.6	

	前連結会計年度 平成30年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 令和元年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,123	5,974	△ 149	97.6	
短期借入金	3,550	4,700	1,150	132.4	
未払金	4,280	3,721	△ 559	86.9	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	8,810	8,204	△ 606	93.1	季節要因による売上高減
その他	4,153	1,697	△ 2,455	40.9	設備電子記録債務の減
流動負債合計	26,919	24,297	△ 2,621	90.3	
長期借入金	-	1,875	1,875	-	シンジケートローンの増
その他	5,141	5,197	55	101.1	
固定負債合計	5,141	7,072	1,930	137.6	
負債合計	32,061	31,370	△ 690	97.8	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,597	5,597	-	100.0	
利益剰余金	7,283	7,473	189	102.6	
自己株式	△ 1,194	△ 1,193	1	-	
株主資本合計	18,632	18,823	190	101.0	
その他有価証券評価差額金	465	324	△ 141	69.7	
繰延ヘッジ損益	△ 2	△ 9	△ 7	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 20	△ 15	5	-	
その他の包括利益累計額合計	442	298	△ 143	67.5	
非支配株主持分	2,115	2,036	△ 78	96.3	
純資産合計	21,190	21,158	△ 31	99.8	
負債純資産合計	53,251	52,528	△ 722	98.6	

自己資本比率※%	35.8	36.4	0.6	
----------	------	------	-----	--

## 5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成30年 1月 1日 至 平成30年12月31日	当連結会計年度 自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	68,839	67,602	△ 1,237	98.2
加工用澱粉事業	3,871	3,808	△ 63	98.4
酵素医薬品事業	4,096	4,244	147	103.6
不動産事業その他	343	345	1	100.5
売上高	77,151	76,000	△ 1,151	98.5
売上原価	62,700	61,735	△ 965	98.5
売上総利益	14,451	14,264	△ 186	98.7
販売費及び一般管理費	12,868	12,614	△ 253	98.0
酒類事業	213	273	59	127.8
加工用澱粉事業	94	50	△ 44	53.0
酵素医薬品事業	1,087	1,142	54	105.0
不動産事業その他	187	185	△ 2	98.7
営業利益	1,582	1,650	67	104.3
営業外損益	23	50	26	214.7
経常利益	1,605	1,700	94	105.9
特別損益	△ 889	△ 200	689	-
税金等調整前当期純利益	716	1,500	783	209.5
法人税等合計	226	437	210	193.0
当期純利益	489	1,062	573	217.1
非支配株主に帰属する当期純利益	20	62	42	311.6
親会社株主に帰属する当期純利益	469	1,000	530	213.0

## 6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成30年 1月 1日 至 平成30年12月31日	自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日		
焼 酎	40,131	39,627	△ 503	98.7
( 甲 類 焼 酎 )	(15,001)	(14,511)	(△ 490)	(96.7)
( 乙 類 焼 酎 )	(25,129)	(25,116)	(△ 13)	(99.9)
チ ュ ー ハ イ	7,342	7,977	634	108.6
清 酒	4,544	4,024	△ 520	88.6
合 成 清 酒	2,762	2,643	△ 118	95.7
ア ル コ ー ル	6,040	6,857	817	113.5
み り ん	668	949	281	142.0
洋 酒	6,164	4,897	△ 1,266	79.4
そ の 他	1,184	624	△ 559	52.7
酒 類 計	68,839	67,602	△ 1,237	98.2
加 工 用 澱 粉	3,871	3,808	△ 63	98.4
酵 素 医 薬 品	4,096	4,244	147	103.6
不 動 産	325	327	2	100.6
そ の 他	18	17	△ 0	98.2
合 計	77,151	76,000	△ 1,151	98.5